

わかりやすいタイトルつける

氏名^{1,a)} 情報 太郎^{1,b)} 室蘭 花子^{1,c)} 工業 次郎^{1,d)}

受付日 2017年8月1日, 採録日 2015年8月1日

概要: 情報リテラシー演習 第3回レポート:グループ 999(ここに自分のグループ番号を記入)

レポートを書くにあたって工夫した点, 苦労した点, 本講義で学んだことなどを簡潔に 250 文字程度で記入

ローマ字氏名^{1,a)} TARO JOHO^{1,b)} HANAKO MURORAN^{1,c)} JIRO KOUGYO^{1,d)}

Received: August 1, 2017, Accepted: August 1, 2015

1. レポートの体裁

レポートの体裁はこの「ひな型」に基づいて整えてください。ここで、ひな型のファイル名は `report3-gXX.tex` となっていますが、実際には `XX` の部分を各グループの番号に置き換えてください。レポートの内容については「情報リテラシー演習の手引き」に書いてある必須要件を必ず満たすように注意してください。

2. PDF 版の提出方法

PDF ファイルは \LaTeX ソースファイルから以下の要領で作成できます。

```
jxxxxxxxx@ubuntu:~$ platex report3-gXX.tex
jxxxxxxxx@ubuntu:~$ dvipdfmx report3-gXX.dvi
```

この結果として、`report3-gXX.pdf` ファイルができあがります。レポートが完成したら、PDF ファイルを印刷し、提出に備えてください。

3. \LaTeX ファイルの分割作成法

手分けして共同で \LaTeX 文章を作成する場合は、担当部分ごとにファイルを分割して作成することになります。たとえば、このひな型のように、各自の担当部分がそれぞれ異なるファイル `report3-taro.tex`, `report3-jiro.tex`, `report3-saburo.tex` として作成されることになります。このひな形では、これらのファイルを親ファイル `report3-gXX.tex` の `\input` 命令を用いて統合しています。`\input` 命令を使うと、その場所に `{ }` で指定したファイルが読み込まれ、コンパイルされます。

ここで、下の例のように、他人のファイルを読み込む `\input` コマンドを `%` 記号でコメントアウトすれば、自分の担当部分だけをコンパイルして確認することもできます。

¹ グループ 999(ここに自分のグループ番号を記入)

a) 学籍番号 (担当した section)

b) 123456(2 章)

c) 78901(1 章)

d) 234567(3 章)

—— 次郎の分だけ input する例 ——

```
\documentclass[a4j,twocolumn]{jarticle}
\usepackage{ascmac}
\usepackage{graphicx}

\title{情報リテラシー演習 レポート 3 \LaTeX ひな形}
\author{情報リテラシー演習 担当スタッフ}
\date{20XX 年 X 月 XX 日}


\begin{document}
\maketitle

%\input{report3-taro.tex}
\input{report3-jiro.tex}
%\input{report3-saburo.tex}


\appendix
\section{担当者一覧}


(途中省略)


\end{document}
```